

平成22年9月10日

会議録 審査内容

◇会議録

- 1 日 時 平成22年9月10日  
開会 午後2時 閉会 午後2時8分
- 2 場 所 役場5階会議室
- 3 出席委員 6名  
委員長 堀川貴庸  
委員 谷口和弥 野原恵子 前川敏春 大野和政 千葉幹雄  
議長 古川稔
- 4 事務局 局長 米川伸宜 課長 仲上雄治 係長 金田恭之
- 5 傍聴者 中橋友子 増田武夫
- 6 審査事件 別紙
- 7 審査結果 別紙

委員長 堀川貴庸

## ◇審査内容

(14:00 開会)

- 委員長（堀川貴庸） それでは、民生常任委員会を開会いたします。早速ですが、これより議事に入りたいと思います。議案につきましては、本委員会に付託されました陳情第12号「市町村国民健康保険への国庫負担の大幅な増額を求める意見書」の提出を求める陳情書について、審査に入りたいと思います。皆さんの意見をお伺いしたいと思います。谷口委員。
- 委員（谷口和弥） 文中にありますように、8年度においてわが町において11%の滞納がでているということであります。1980年代に59.5%あったものが25%になった。このことによる国保税の増額が、大変、国民健康保険に加入されている世帯を苦しめているのではないかと、そのように思います。この陳情の願意については、とても重要なものがあると考えています。以上です。
- 委員長（堀川貴庸） ほかにございますか。野原委員。
- 委員（野原恵子） 幕別町の平成20年度の国保の特別会計なんですけれども、それから見ましても、幕別町の所得階層は、国保の場合、100万円未満が42.7%なんですよね。そして滞納している世帯も100万円未満が一番多くて、29.5%です。ですからそういうところでは、国保に加入している町民の暮らしの状況が大変困難だということが、明らかになっております。そういう中で、この陳情の趣旨に書かれております、国の負担の低下ですとか、都道府県に対するペナルティですとか、そういうものを見ましても、この陳情に書いてありますように、国がしっかり財政支援をしていかないと、都道府県は勿論ですし、この幕別町にも負担は大変重くなるということで、陳情には賛成をしたいと思います。
- 委員長（堀川貴庸） ほかに意見がないようでしたら、次のステップに進みたいと思いますがよろしいでしょうか。今の皆さんのご意見を踏まえまして、討論を省略してすぐ採決にうつりたいと思いますが、よろしいでしょうか。
- （はいの声あり）
- 委員長（堀川貴庸） それでは、陳情第12号、「市町村国民健康保険への国庫負担の大幅な増額を求める意見書」の提出を求める陳情につきまして、採択することにご異議ございませんか。
- （なしの声、多数）
- 委員長（堀川貴庸） それでは、陳情第12号は採択することと決しました。続きまして、閉会中の所管事務調査について決めたいと思います。お手元に参考資料が添付されていると思いますが、何かご要望の点があれば、お受けしたいと思います。野原委員。
- 委員（野原恵子） 国民年金に関することについて、お願いします。
- 委員長（堀川貴庸） 千葉委員。
- 委員（千葉幹雄） 前回、私、途中で失礼したんですけど、児童福祉に関する事項を、若干積み残しをしたというか、そういう風に聞いていたんですけど、それはどうなんですか。
- 委員長（堀川貴庸） 先般は、こども課に関する関係で児童福祉の分野を取り上げましたけれどももう一回今度は、福祉と保健に関して、もう少し子育て支援の調査研究を引き続きさせていただいて、そのほかに閉会中のまだ残っている分野についても、取り上げて所管事務調査としたいんですが。千葉委員。
- 委員（千葉幹雄） ということは、キの児童福祉の事項を若干留保して、それにもう一つ、国民年金に関する事項をやったらということですね。

○ 委員長（堀川貴庸） それでは、今、野原委員からもありました国民年金に関する事項、それから積み残しました、子育て支援施策の児童福祉に関する事項を、所管事務の調査項目とさせていただきたいと思います。日程等につきましては、また、正副委員長で相談させていただきまして後ほどご連絡さしあげたいと思います。よろしくお願いいたします。報告書等につきましても、正副委員長にお任せいただくということによろしいでしょうか。

○ （はいの声あり）

○ 委員長（堀川貴庸） はい、ありがとうございます。この際、委員の皆様から何かございますか。ないようですので、これをもちまして民生常任委員会を閉会いたします。

（14：08分閉会）